

出願書類について

本プログラムの応募にあたっては、以下の5つの書類が必要となります。

(来年度の4月に異動される方は、その旨をメモや送付状等に記載してください。出願許可証のご提出は結構です。選考に通った場合、後日異動先の許可証をご提出願います。)

1) 履歴書

- 学歴は入学および卒業・修了を分けて記載してください(下記参照)。
- 年代には西暦を使用し、古いものから順に記載してください。
- 資格・学位の欄に医師免許証の医籍登録番号を必ずお書き下さい。
- 12ポイントのフォントを用いて記載してください。なお記載スペースは縦に拡張してもらってもかまいません。

(例) 学歴

1992年4月 京都大学医学部 入学
1998年3月 京都大学医学部 卒業
2003年4月 京都大学大学院医学研究科 医学教育学博士課程 入学
2007年3月 京都大学大学院医学研究科 医学教育学博士課程 修了

(例) 職歴

1998年4月～2000年3月 ふくみん市立病院 初期臨床研修医
2000年4月～2003年3月 ふくみん市立病院 糖尿病内科 後期研修医
2008年4月～現在 ふくみん市立病院 糖尿病内科 医長

(例) 学位・資格

1998年5月 医師免許証 医籍登録番号第XXXXXX号
2004年12月 日本内科学会認定総合内科専門医 認定番号XXXX

2) 出願許可証(受講同意書)

- 出願者と同じ施設(医療機関)に所属し、その勤務状況に責任を持った立場の方に記載してもらってください。
- 推薦状に記載する推薦者と同一であっても異なってもかまいません。
- 適切な方が同じ施設(医療機関)に不在の場合はお問い合わせ下さい。

3) 推薦状

- 出願者の教育活動をよく知っており、かつその内容に責任を持てる立場の方に、推薦状を記載してもらってください。
- 推薦理由は、12ポイントのフォントを用いて1頁以内で記載してください。

4) 志望動機と修了後の展望

- 志望動機の欄には、「なぜあなたはこのプログラムに参加しようと思ったのか？」を記載してください。
- 修了後の展望の欄には、「プログラム修了後、学んだことをどのように生かそうと考えているのか？」を記載してください。
- 12ポイントのフォントを用いて1頁以内で記載してください。

5) 医学教育の実践・振り返りレポート

- 書式は日本医学教育学会の認定医学教育専門家資格の申請用ポートフォリオに準じています。記載方法の詳細については日本医学教育学会から出されている認定用ポートフォリオ作成ガイド Ver1.1 (http://jsme.umin.ac.jp/CMES/pf_guide.pdf)をご覧ください。
- 医学教育学会の医学教育専門家申請に必要なコース後レポート、学術活動の成果(論文・学会発表など)、教育履歴の提出は不要です。
- これまでの医学教育に関する全ての実践の中から以下の3項目中1項目に関する内容について記載し、提出して下さい。
 - 1 TL: Teaching and Learning (教授と学習)
 - 2 A: Assessment (学習者評価)
 - 3 CD: Curriculum Development (カリキュラム開発)
- 評価項目は医学教育学会の医学教育専門家の申請書類評価項目に準じます。(作成ガイド p48、9-2. 教育実践・振り返りレポート評価項目を参照ください。)
- 12ポイントのフォントを用いて 2 ページ以内 で記載してください(ページ数が医学教育専門家申請の場合と異なりますのでご注意ください)。
- 図表を用いたり、画像を貼付けたりして頂いてもかまいません。

その他、記載にあたって不明な点があればお問い合わせ下さい